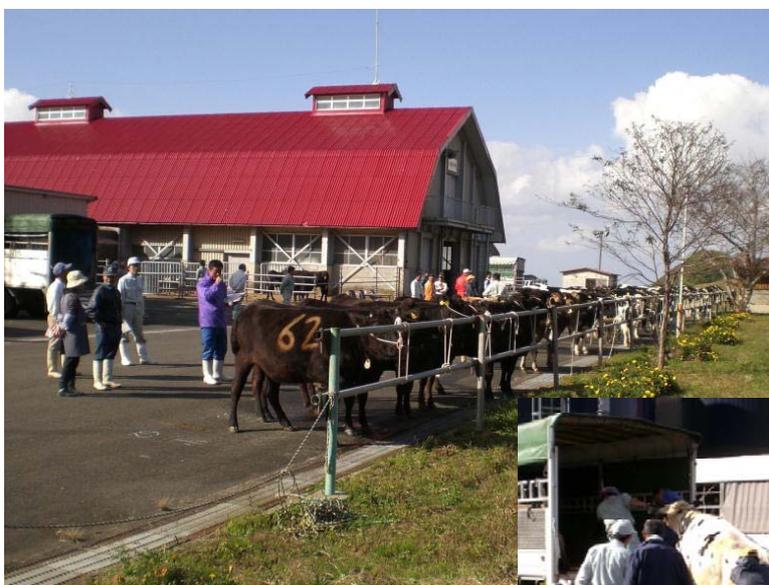


酪農家、和牛繁殖農家での活躍を願って

－10月22日、乳用育成牛、肉用繁殖雌牛の譲渡会を開催－

碓高原牧場の広い放牧場を元気に走り回っていた牛37頭が、今年も冬の到来を前に農家の皆さんに引き取られて行きました。たっぷりの運動と牧草で、足腰を鍛えたくましく育った乳用育成牛31頭と肉用繁殖雌牛6頭を、譲渡先の20戸それぞれの農家経営に立派に貢献することを期待しつつ送り出しました。



譲渡牛のでき映えを見る農家



牛の積み込み（各々の農家へ出発）

畜産技術センター
碓高原牧場

大規模養鶏場に畜産センター方式の脱臭装置を設置

当センターでは、畜産施設から生じる悪臭について、飼養規模に応じた脱臭装置の基本設計図面を作成し、対策の提案を行っています。今回、南丹地域の大规模養鶏場で、使用されていない堆肥舎と資材置き場の一部を改装し、府内4例目となる当センター開発の脱臭装置が設置され、稼働を始めました。



脱臭装置への硝化・脱窒細菌の植種の作業

畜産センター

ポテトチップスに使うジャガイモ残さを牛の餌に

－エコフィードの給与試験を実施中－

当センターでは、廃棄される食品残さを家畜の飼料として有効利用するエコフィードの給与試験を京都大学と共同で実施しています。うどんやジャガイモなど6種類の残さを混合し乳酸発酵させて乳牛に与えたところ、ジャガイモの割合が高いものを好んで食べるのが分かりました。引き続き、従来与えている飼料からどの程度置きかえることができるかを評価することとしています。



試験の様子とサイレージ調製（乳酸発酵）したエコフィード(左下円内)

児童・生徒が畜産の生産現場を体験

—小・中学生の職場体験学習の受け入れ—

小学校（京丹後市）、中学校（綾部市）の児童・生徒が、体験を通して労働を学び、職業について考える職場体験学習に碓高原牧場と畜産センターを訪れました。児童らは、牛に飼料を与えたり子牛のほ乳、ふんの掃除や牛の手入れなど、初めて行う生産現場での色々な作業を楽しく熱心に取り組んでいました。



たくさん食べてね



体重を測るからじっとしてね

畜産センター
畜産センター碓高原牧場

農家に出向き受精卵を採取しています

当センターは、農家に出向き、農家所有の高能力牛から受精卵(胚)を採取・移植することで、農家と地域の牛群改良を進めています。今年度(10月末まで)は、9頭で胚の採取を行い、回収した胚は109個、うち正常胚が63個でした。現地で同日に移植した新鮮胚5個以外は凍結処理し、今後の移植に備え保存しました。



畜産農家で高能力牛（黒毛和種）の採胚をしています

少し早めにサポートカウを収牧

綾部市で放牧中のサポートカウは、当初10月中旬に所有者の畜産農家へ帰る予定でしたが、大型台風接近による牛への影響を考慮し、10月7日に収牧しました。収牧に集まった地域の方から「獣害が少なくなった」「牛の放牧に取り組んで大変良かった」などの感想を頂き、来年も取り組むことを確認しました。



ロープで引かれてトラックまで移動



お疲れ様！ 来年も来いよ！！

家畜商講習会の開催

10月14日、15日に、当センターを会場に「家畜商講習会」を開催しました。
この講習会は、牛、馬、豚、めん羊及び山羊の売買などの取引を行う「家畜商」の免許を取得するためのもので、近畿6府県(近畿で輪番開催)から集まった41名の受講生は、家畜の品種や特徴、登録などについて、熱心に受講していました。



センター職員による講習に聞き入る受講生

秋の消防訓練を実施

当場は消防署から遠隔地であるため、初期消火活動に重点を置き職員による自主的な消防活動を行っています。今回、秋の全国火災予防運動に先立ち、消防訓練を行いました。消火栓の位置や器具・機材の保管場所を確認し、屋内消火栓の取扱いについて、実際にホース延長、放水などの操作を行いました。



屋内消火栓による放水訓練



器具機材の点検・確認

畜産センター
碓高原牧場